

インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

インフルエンザ： 報告数は5件（前月比1.3、前年比0.2）でした。人吉、菊池、有明、天草からの報告です。今のところ少数の報告にとどまっています。

小児科定点

（全体傾向） 報告数は2,284件（前月比1.1、前年比0.7）でした。前月に続き報告数は少なく、感染性胃腸炎（前月比1.1）、A群溶連菌咽頭炎（前月比1.5）、流行性耳下腺炎（前月比1.0）、水痘（前月比1.3）の報告が多いです。

（疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症： 195件（前月比1.6、前年比0.9）でした。9月から漸増しており、例年並みの推移と考えられます。菊池からの報告が多いです。2歳未満がほとんどです。
2. 咽頭結膜熱： 28件（前月比0.8、前年比0.6）でした。6月から減少傾向を続けています。
3. A群溶連菌咽頭炎： 288件（前月比1.5、前年比1.5）でした。8月以降増加が続いていますが例年と同様の傾向です。例年よりやや報告数が多く、菊池・熊本からの報告が多いです。今後の動向に注意が必要です。1歳～中学生の年齢層がほとんどです。
4. 感染性胃腸炎： 783件（前月比1.1、前年比0.4）でした。例年報告数が増加してくる時期ですが、非常に少ない報告です。乳児から20歳代まで幅広い年齢の報告です。
5. 水痘： 200件（前月比1.3、前年比0.8）でした。9月から漸増しており、例年並みの報告数です。山鹿・菊池からの報告が多いです。6歳までの乳幼児の報告がほとんどです。
6. 手足口病： 71件（前月比0.4、前年比2.4）でした。6月から9月まで大流行でしたが、10月から減少し例年並みの報告数になりました。天草からの報告が目立ちます。
7. 伝染性紅斑： 26件（前月比1.4、前年比0.2）でした。昨年6月より約1年間大流行でしたが、7月以降漸減しほぼ昨年並みの報告数に落ち着いてきています。
8. 突発性発しん： 135件（前月比0.8、前年比0.9）でした。
9. 百日咳： 2件（前月比1.0、前年比0.7）でした。御船から2件の報告ですが、20歳代の報告です。
10. ヘルパンギーナ： 49件（前月比0.6、前年比1.4）でした。6月から大流行していましたが7月をピークに漸減し10月から例年並みの報告数に減少してきました。天草からの報告が多いです。
11. 流行性耳下腺炎： 265件（前月比1.0、前年比1.0）でした。昨年後半から報告数が多い状態が続いています。菊池・有明からの報告が多いです。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎： 報告はありませんでした。
2. 流行性角結膜炎： 報告数34件（前月比0.9、前年同月0.8）と減少しています。8月、9月と増加傾向にありましたが10月から急激に減少してきました。地区別では熊本29件、菊池4件、有明1件の報告です。年齢別では20～29歳35%、60歳以上26%と両年齢層で61%を占めています。

STD定点

1. 性器クラミジア感染症： 報告数41件（前月比0.9、前年比1.1）で、前月比は減少し、前年比は増加しています。男女別は、男性13件、女性28件で、女性に多く見られます。年齢別は、男性は15～54歳に幅広く見られ、女性は15～34歳に多く見られます。地域別は、熊本が31件と多く、次いで御船5件、宇城2件、山鹿、菊池、八代各1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症：
報告数20件（前月比0.9、前年比1.5）で、前月比は減少し、前年比は増加しました。男女別は、男性6件、女性14件で、女性に多く見られます。年齢別は、男性は20～69才、女性は20～70歳以上と男女ともに幅広く見られます。地域別は、熊本が16件、八代、宇城各2件でした。
3. 尖圭コンジローマ： 報告はありませんでした。
4. 淋菌感染症： 報告数15件（前月比0.8、前年比1.2）で、前月比は減少し、前年比は増加しています。男女別は、男性が11件、女性4件で、男性に多く見られます。年齢別は、男性は15～54歳に、女性は20～24歳に見られます。地域別は、熊本が10件、宇城4件、菊池1件でした。

基幹定点

（月報分）

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：
報告数95件（前月比1.0、前年同月比1.6）でした。年齢は、77件（81%）は70歳以上でした。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：
報告は5件（前月比5.0、前年同月比1.3）でした。場所は熊本保健所4件、八代保健所1件でした。年齢は0歳が1件、1～4歳が1件、25～29歳が1件、70歳以上が2件でした。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：
報告はありませんでした。
4. 薬剤耐性アシネトバクター感染症：
報告はありませんでした。

（週報分）

1. 細菌性髄膜炎： 報告はありませんでした。
2. 無菌性髄膜炎： 報告はありませんでした。

3. マイコプラズマ肺炎：報告は26件（前月比1.3、前年同月比2.2）でした。場所は熊本保健所14件、阿蘇保健所2件、人吉保健所8件、有明保健所2件でした。年齢は、1～4歳3件、5～9歳12件、10～14歳8件、15～19歳1件、30～34歳1件、55～59歳1件でした。幅広い年齢層に分布しています。
4. クラミジア肺炎： 報告は1件でした。場所は熊本保健所で、年齢は5～9歳でした。

届け出対象感染症

- 1類感染症： 報告はありませんでした。
- 2類感染症： 結核：31件
- 3類感染症： 腸管出血性大腸菌感染症：6件
(O26:4件、O157:1件、不明:1件)
- 4類感染症： つつが虫病：3件
日本紅斑熱：5件
- 5類感染症（全数把握）： 後天性免疫不全症候群：3件
バンコマイシン耐性腸球菌感染症：1件
劇症型溶血性レンサ球菌感染症：1件